



市内中学生 17 人、外国人 4 人がスピーチ
第 31 回英語スピーチコンテスト・日本語スピーチが生涯学習センターで行われました。発表者は自分の経験や日常生活の中で考えたことを、スピーチ、表情、身振り手振りで観客に伝えました。須山中学校の土屋穂乃佳さんが英語スピーチコンテストの最優秀賞を受賞しました。土屋さんは、老人ホームの職場体験を通し、介護士になる夢を持った経験についてスピーチしました。

(2月1日)



鬼は外！福は内！

御宿台保育園で豆まきが行われました。3～5歳の年少から年長の園児 125 人が紙芝居で豆をまく意味を学んだ後、「まめまきのうた」を合唱しました。先生たちが鬼になって登場すると、園児たちは新聞紙で作った豆を投げつけ、鬼を追い払いました。

(2月3日)



各地で記録的な大雪、市内も銀世界に

2月8日、14日に市内で記録的な大雪が降りました。市役所周辺でも10センチ前後の雪が積もり、あたり一面銀世界に包まれました。市内の幹線道路では長い渋滞が起こるなど多大な影響を受けました。

(2月8日)



西小学校で出前講座

西小学校で東京電力によるエネルギー講座が行われました。小学4年生の児童たちは電気を発電する方法の説明を聞いたあと、圧力鍋で蒸気を作って小型のタービンを回し、発電する仕組みを間近で見学したり、ゼネコンを使って豆電球を点灯させたりしました。

(2月17日)



前文化庁長官が富士山について講演

富士山の事業として、前文化庁長官の近藤誠一さんと富士山裾野ガイド協会の根上慎治さんによる講演会が行われました。近藤さんからは、富士山の世界遺産登録の意義、保全の必要性のほか、世界遺産委員会の舞台裏の話などの話がありました。

(2月19日)



今月の一枚



「銀世界」



防火標語入選者 11 人を表彰

防火標語入選者表彰式が消防署で行われました。応募総数 1,207 点の中から 11 点選ばれ、11 人の方々が表彰を受けました。(株)ヤクルト本社富士裾野工場の小田保之さんが応募した標語が最優秀賞に輝きました。「地域から 未来へつなぐ 防火の輪」でした。(2月21日)



小学校の給食用に寿太郎みかん贈呈

J A なんすんから地元の農産物にほこりを持ってほしいと、寿太郎みかん 3,359 個が贈呈されました。贈呈された寿太郎みかんは、2月下旬から3月上旬にかけて、市内の小学校の学校給食で提供されました。(2月21日)



親子で体験実習

みんなのつどいが生涯学習センターで開催されました。市内 24 団体が活動内容の展示や体験コーナーを開きました。多くの親子連れが訪れ、各ブースは賑わいをみせました。(2月23日)



栄養と彩りを考えて給食を選択

バイキング給食が富岡第二小学校で行われました。児童たちはえびフライやオムレツなど数種類あるメニューから栄養や彩りを考えて給食を選びました。市長も参加し、児童たちと楽しく話しながら給食を食べました。(2月26日)